

ボルテックス活性器

動作原理

ボルテックス活性器は、スーパーセンソニクス(VORTEX LASER ACTIVATOR)を継承し、さらにラジオニクス的な側面を付け加えたものです。

ボルテックス活性器は、さまざまな次元に作用します。単なる肉体的な作用から、精神的なものまで、さらには宇宙知性のレベルに至るまですべての次元に作用は広がります。

基本となっているのは「すべての物質・心・霊は、異なる振動数で脈動している同一のエネルギーから形成されている」という理論です。これらの振動（波動）は、実際に回転し、あるいは渦を巻くエネルギー場の層からなります。科学的には「周波数包絡線(frequency envelope)」として知られているものです。

ボルテックス活性器は、いくつかの原理に基づいて作動します。その最初のもは「特定の光の波長は、生物、無生物のエネルギー場にはっきりした特有の効果を及ぼす」というものです。LEDの光による治療効果についてはMind Craftのホームページでお知らせしたとおりですし、より強力にしたレーザー光線は外科手術のメスにも使われている物理的な作用をもたらします。

次の原理は「エネルギーは光に従う」という性質です。動いている光はエネルギー場にも影響を及ぼします。回転する光の輪は、人体などの生体エネルギー場の活動を、活性化したり抑制したりできます。

すべてのエネルギー・システムは宇宙の知性によって支配され、左右されています。知性はもっとも単純なものから、最も複雑なものまで多くの異なるレベルに存在するすべてを作り出しました。ラセン運動はそのどのレベルにも見ることができます。ラジオニクスの理論によれば、個々のシステムは固有の「振動数と率」をもちます。ラジオニクスではこの振動を「レート」と呼び、スーパーセンソニクスでは「周波数」と呼んでいました。（ただし、電気、物理学でいう周波数とは意味がまったく異なります。）この「レート」を利用するために、ボルテックス活性器は意図をらせん形の光の形で示し、光のエネルギーで意識自体にも浸透させることができます。

使用方法

- ① 体の特定の部位の活動を刺激したり、抑制したりするために、参考資料のリストから適切な「レート」を選択し、その数値をダイヤルにセットします。もちろん自分で発見した「レート」をセットすることもできます。

チャクラを活性化させたり、不活性化させたりする「レート」をセットすることもできます。

チャクラ	色	レート
頭頂部(サハスラーラ)	紫	80
眉間(アージュナー)	藍	68
喉(ヴィシュダ)	青	62
心臓 (アナハタ)	緑	55
みぞおち (マニピューラ)	黄	25
仙骨 (スヴァーディシュターナ)	橙	19
会陰部(ムラダーラ)	赤	13

- ② 回転方向を選びます。

時計回り・刺激、活性化、レートのチャージ、エネルギーの注入に使います。

半時計周り・抑制、リラックス、非活性化、開放、エネルギーを抜くために使います。

- ③ 横についている照射ボタンを押すと光の渦が照射され、ボタンを離すととまります。渦の焦点を調整します。身体には10～50センチくらい離して勝者します。20センチ程度がいろんなものに適当です。使用時間は活性化や抑制化の程度により異なります。振り子、直感、参考資料で決めてくださいs。

- ④ 操作が終わったら、電源をきってください。

以上、

参考資料

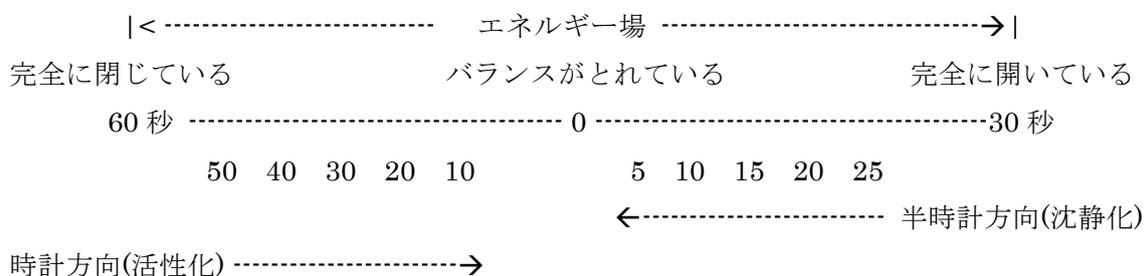
使用時間・回転方向について

生命エネルギー場が適切に働くには多くの要素のバランスをとる必要があります。

今は証明されていませんが、直感や瞑想などで使用時間、回転方向を決めることのほうが有効なのです。これらの手段により、使おうとする部位が活性化しすぎているのか、不活性化なのかを判断し、使用時間・回転方向を決めます。

使用時間のたまかな目安として次のチャートを参考にしてください。

チャクラを例にした場合のおよその見当



たとえば使用者のチャクラがやや閉じていると判断した場合、その程度が上のチャートのどこに位置しているか（どこで直感、ダウジングが反応するか）チェックします。もし、20秒の位置の時には時計方向(活性化)に20秒使用します。

こんな感じで決めていきます。

もっとも重要なことは、このような機器を使用する場合、身体各エネルギー場と細胞のひとつひとつに意識を向け続けることです。より多くの時間、意識を集中すればするほど、うまくバランスが取れます。バランスがよくなってくればやがて、この機器は必要なくなります。その日まで、この機器は手助けとなるでしょう。